

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について
(基本情報)

事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
測定ツール名	GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ					
主な対象者	中学1年生～高校3年生					
対象教科	国語	数学	英語	測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
			○		○	○
測定ツールの目的・概要	実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる日本の中高生に適した出題。自分が登場人物になったつもりで取り組める問題も出題しており、受検そのものが英語を使った生活体験に感じられるように工夫。					
測定ツールの特長・活用例等	<p>◆特長1：技能別の英語力をスコア型の絶対評価で測定 技能別の英語運用力を絶対評価で示すので、英語力の伸びを実感できる。継続的に受検することで、「過去の自分からどれだけ成長したか」を数値で把握できる。スコアは4技能のCEFRレベル別結果を確認することができる。</p> <p>◆特長2：日本の中高生の英語力を測るのに適した問題 授業で学んだ英語を「実際に使う」という手ごたえを感じられる出題。また、背景知識に左右されないため、より正確に生徒の現在の英語力とその伸長がスコアに現れる。</p> <p>◆特長3（及び、活用例）：振り返りに役立つ充実したフィードバック 詳細な教師用帳票とスコアレポート（個人別成績票）により、次のご指導・学習のポイントが明確になる。また、生徒一人ひとりに音声付きの付属学習教材「スキルUPワーク」を提供。</p> <p>活用例）長期休暇前にテストを受検し、テスト結果に応じて、休暇中に、「スキルUPワーク」で自身の英語力を高めることが可能。</p>					
実施期間、年間実施回数	<p>◆検定としてのGTECは、年5回の実施日を予定しており、日程と受検可能な問題タイプ等については、下記の弊社GTECのウェブサイトから確認可能にする予定。</p> <p>◆アセスメントとしてのGTECを受検する場合は、どの問題タイプにおいても、問題内容は4月と10月に切り替え予定で、同じ問題タイプでも年に2回受検できる。</p>					
実施方式 (CBT/PBT)	「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能は紙で、「話すこと」はタブレットでの実施。					
試験時間(分)	国語	数学	英語			
			<p>◆Advanced/Basic：合計120分 聞くこと：約25分、読むこと：約45分 話すこと：約25分、書くこと：約25分</p> <p>◆Core：合計102分 聞くこと：約20分、読むこと：約32分 話すこと：約25分、書くこと：約25分</p>			
受検料	<p>・検定としてのGTECを受検する場合（4技能）：6,380円（10%税込）</p> <p>・アセスメントとしてのGTECを受検する場合（4技能）：5,700円（10%税込）</p>					
標準返却期間	答案弊社到着後、約1.5～2ヶ月					
URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.benesse.co.jp/gtec/fs/					
指摘事項	出題に関すること	1	件			
	結果提供に関すること	1	件			
	運営その他に関すること	2	件			